

別 記

様式第1号(第8条、第9条、第12条関係)

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2024年 6月13日

(宛先)

滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
大津市大江一丁目1番40号

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
東レ・プレジジョン株式会社 代表取締役社長

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項→ 第25条第4項
第27条第1項→ 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項

の規定に基づき、事業者行動計画を 策定 (変更)
事業者行動報告書を作成したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	東レ・プレジジョン株式会社 代表取締役社長 池内 秀樹
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	大津市大江一丁目1番40号

1 事業所の概要

事業所の名称	東レ・プレジジョン株式会社 本社工場					
事業所の所在地	大津市大江一丁目1番40号					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	2	5	9	9	※ 産業分類・細分類名称を記載 各種機械・同部分品製造修理業(注文製造・修理)
事業の概要	各種機械・同部分品製造修理業(注文製造・修理)					
従業員の数	179	人	操業時間	7.5 (8時30分～17時)	時間/日	
該当する事業者 の要件	☐ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	☒ 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ		台	熱源設備		台
	コンプレッサ	4	台	空気調和設備	30	台
				照明設備		台
				その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始 年度	2022	年度	報告対象年度	2023	年度
	終了 年度	2025	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

<環境に関する行動指針>

東レグループは、安全・防災・環境保全を最優先課題とし社会と社員の安全と健康を守り、環境保全を積極的に推進します。

<環境方針>

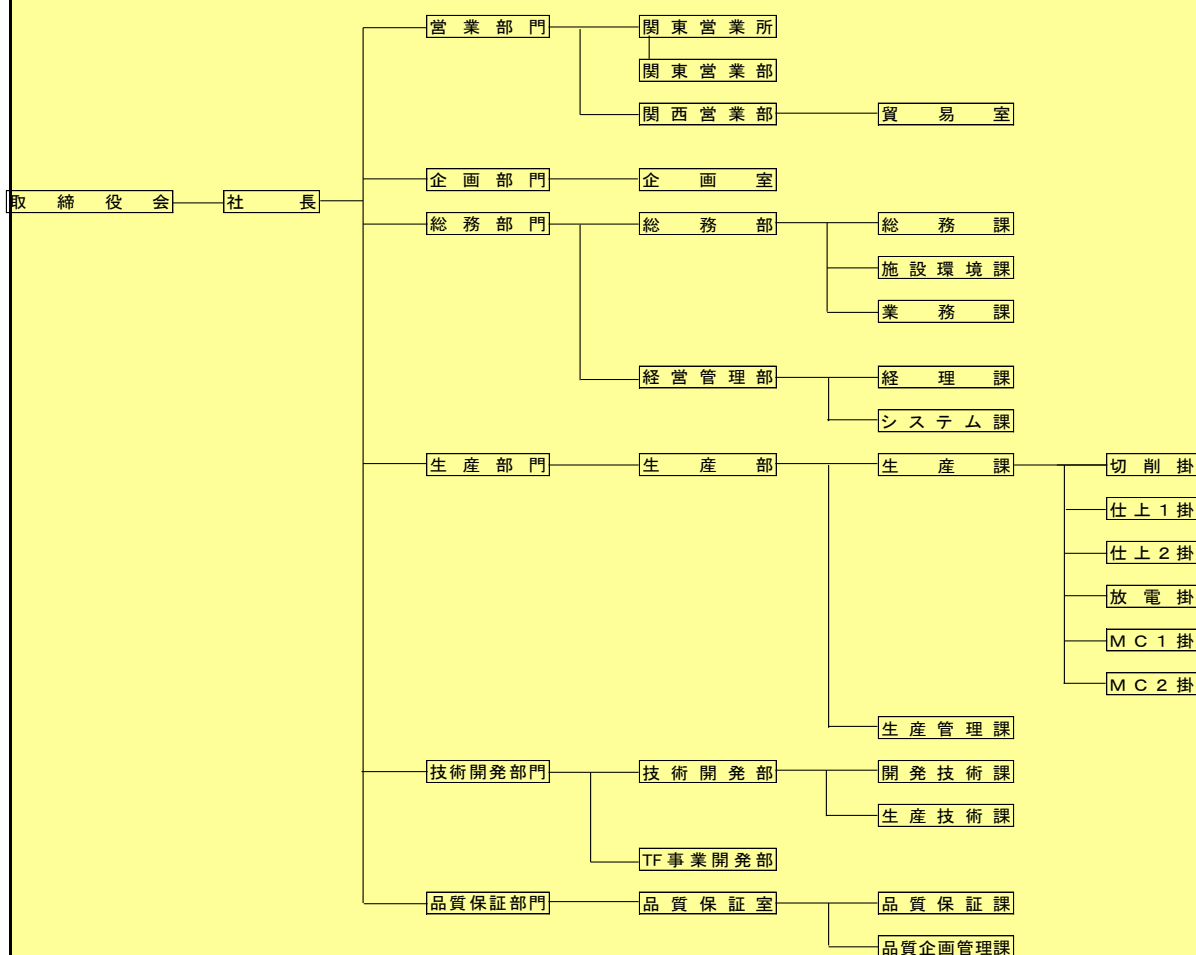
近畿の水瓶琵琶湖に隣接する瀬田工場は、周辺環境との調和を常に意識し、東レ(株)経営理念における行動指針「安全・防災・環境保全を最優先課題とし、社会と社員の安全と健康を守り環境保全を積極的に推進します」に沿って、以下の具体的環境方針を策定し、瀬田工場で働く全ての人によって環境マネジメント活動を推進していきます。

- 1.環境マネジメントの適切な運営により、環境マネジメントシステムを継続的に改善します。
- 2.環境に配慮した製品、活動、サービスの提供、リサイクル率向上による産業廃棄物の削減、効率向上による省エネルギーの推進により、環境に優しい工場づくりに努めます。
- 3.環境関連の法規制及び工場が同意したその他の要求事項を順守します。
- 4.環境目的・目標を設定し、その実現を図るとともに定期的に見直します。
- 5.本方針は文書化し、実行し、維持するとともに工場で働く全ての人に周知徹底します。
- 6.本方針は、一般に公開します。

2 取組の推進体制

【東レ・プレシジョン(株)組織図】

2024年4月1日



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

1.2005年度:

- (1)空調機更新(氷蓄熱)
- (2)コンプレッサー更新(インバータ仕様)

2.2009年度:

- (1)受電設備(トランス)更新
- (2)第1工場 飲料水 漏水対策
- (3)工場事務所 屋根2層化

3.2010年度:

- (1)第1工場、第2工場照明器具更新(Wエコ取付)
- (2)本館照明器具更新(ハイブリッド蛍光灯)
- (3)空調機屋外機 熱交換フィン洗浄

4.2011年度:

- (1)コンプレッサー更新(インバータ仕様)
- (2)工場事務所棟照明器具更新(Wエコ取付)
- (3)蛍光灯間引き
- (4)設定圧力の変更(0.7→0.6MPa)
- (5)夜間、休日のコンプレッサー停止
- (6)冷房設定温度変更+壁掛扇風機取付

5.2012年度:

- (1)コンプレッサー更新(インバータ仕様)
- (2)効率的な生産設備、空調機稼動による省エネ

6.2013年度:

- (1)第1工場屋根への遮熱・断熱塗料塗布による空調負荷低減
- (2)第3工場、屋外照明のLED化

7.2014年度:

- (1)第2工場、管理棟屋根への遮熱・断熱塗料塗布による空調負荷低減

8.2015年度:

- (1)OILミストコレクター更新(サイクロン式→静電式)による省エネ
- (2)放電加工室空調機更新による省エネ

9.2016年度:

- (1)MC1マシニングフロアー空調機更新による省エネ
- (2)MC2マシニング・研削フロアー空調機更新による省エネ

10. 2021年度:

- (1)太陽光発電設備設置による買電量削減

11.2022年度

- (1)PACエアコン:室外機の遮光、冷房設定温度アップ、夜間の運転停止、更新(冷房COP)、加工室換気強化
- (2)コンプレッサー:運転配台最適化、吐出圧力低減
- (3)クーリングタワー:循環水量低減、不要配管撤去、温度制御適正化
- (4)加工機:自動起動化(待機時間削減)

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	効率的な生産設備、空調機稼働による省エネ	2022年度～	継続実施中
2	運用改善	正月・GW・お盆期間中の不要設備(生産設備、空調機)の電源OFF	2022年度～	継続実施中
3				
4				
5				

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
(1)の取り組み内容について、社内検討会で具体的改善内容とその目標を策定中。 目標設定は、“エネルギーの使用量(原油換算kl)”を“売上金額”で除した値とする。	エネルギー等原単位(エネルギーの使用量(原油換算kl)を売上金額で除した値)は、前年比0.032悪化した。理由は、生産設備・空調機の稼働をこまめに管理することにより、エネルギー等使用量(主に電力使用量)の増加を最小限に抑制したが、受注量の減少により売上金額が前年比減少したためである。

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2022)年度	(2023)年度	()年度	()年度	()年度
原油換算エネルギー使用量	kL	1,467	1,457	1,401			
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	1,808	1,747	2,019			
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	1,808	1,747	2,019			
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂						
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		0.325	0.267	0.299			

備考 「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	買電量に対する非化石証明書購入	2025年度～	特に無し。
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	324	kW	水力・小水力		kW	地熱		kW
太陽熱		kW	バイオマス		kW	その他 ()		kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績								

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

			実績報告				
			(2022)年度	(2023)年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	155,000	375,995	362,009			
上記のうち自家消費量	kWh	155,000	375,995	362,009			

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2022)年度	(2023)年度	()年度	()年度	()年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂	2,060	1,816	2,433			
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂	2,060	1,816	2,433			
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh	0.351	0.311	0.360			
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2022)年度	(2023)年度	()年度	()年度	()年度
グリーン証書の購 入	t-CO ₂	0	0	0			
クレジットの購入	t-CO ₂	0	0	0			
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1		特に無し		
2				
3				

(4) 業務で使用する車両の脱炭素化の取組

		計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
			(2022)年度	(2023)年度	()年度	()年度	()年度
保有車両の数	台	5	5	5			
上記のうち 次世代自動車等の 数	台	0	0	0			
特記事項							

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	3R	ゼロエミッションの継続、リサイクル率:90%以上の達成	2022年度～	ゼロエミッション継続 実施中 リサイクル率:100%
2	グリーン購入	事務用品等のグリーン購入を継続実施する	2022年度～	グリーン購入率: 100%
3	その他	淡海エコフオスターへの継続参加(3回/年)	2022年度～	6月、10月、2月に実 施、44名参加。
4				
5				